

第8回金山町町制施行100周年記念事業実行委員会

◎日時：令和7年10月9日（木）

13：29～14：46

◎場所：町民ホール

（出席者）

佐藤 英司 実行委員長（金山町 町長）
栗田 保則 副実行委員長（金山町議会 議長）
小関 啓幹 副実行委員長（金山町 副町長）
星川 広喜 委員（もがみ北部商工会金山支部 支部長）
井上 亘 委員（社会福祉法人陽だまり 本部長）
樋口 勝也 委員（老人クラブ連合会）
大場 洋介 委員（青年団体連絡協議会 会長）
星川美紀子 委員（女性団体連絡協議会）
松田 秀子 委員（女性団体連絡協議会 会長）
沼澤 道也 委員（金山町議会 副議長）
鈴木 英樹 委員（金山町 教育長）

1. 開 会

2. 実行委員長あいさつ

委員の皆様には、一昨年の7月18日から実行委員を担っていただきご活躍いただきました。この間、記念事業を盛り上げるために様々なご意見ご協力をいただきました。おかげさまで100周年記念事業もおおむね初期の目的を達成することができたのではないかと感じています。

実行委員の任期は来年3月末までとしているが、事業が落ち着いたこの時期に事業の総括をさせていただき、不備などあればご意見頂戴したい。

若干これから実施される事業もある。金中生によるスピンオフ映像作成などが残っているが、記念事業といわれるものについては概ね目途がついた状況にある。

これまでの事業について報告を申し上げ、ご意見をいただきたい。

3. 協 議（座長：佐藤英司実行委員長）

（1）これまでの事業実績等について

事務局より資料に沿って事業実績について説明。

後半に令和5～7年度事業実績を掲載しているので後程確認を。

町の花・鳥について。

森林環境譲与税を活用し、現在絵本を作成中。その中にもクマタカとカタクリが出てくる。

（2）意見交換

質問・確認事項

佐藤 英司 実行委員長

令和6年度から実施されてきた内容を中心に説明があった。数多くの事業が実施されたと改めて感じている。委員の皆様から特に印象に残る点など感想などいただきたい。新聞広告についても、2面見開きで見たときにはびっくりするようないい感じの広告を出していただいたと思っている。記念映像についても様々なコンテストで受賞するというおまけもついてきている状況。これらも踏まえ、委員の皆様方からご意見ご感想をいただきたい。

星川広喜委員から順にお願いします。

星川 広喜 委員

準備期間も合わせて3年間、皆様ご苦勞様でございました。

商工会としては、祝賀会では食材や商工会の事業所をご利用いただき感謝申し上げます。

先月、山車連盟の研修で各若連の代表が歌舞伎を視察し、参加者からは大変好評だった。金山祭を盛り上げていきたいという若者の機運が高まったと聞いている。100周年を機に新たな芽が育っていると感じている。また、観光協会で実施したプロジェクションマッピングも大変好評だったこと、大変嬉しく思っている。

井上 亘 委員

産業課で取り組んでいる絵本の中に、100年で1周する時計が出てくる。とても印象深かったのが今後どこかの場面で、実物でも良いし、町の象徴としてぜひ実現して欲しい。100が年かけて1周する時計。それが金山のまちづくりにとてもマッチしているのでどこかで使っていただきたい。

ユイさんが作成した「RELAY」、とても良い映像だったので、コンテストに出してもらえたら嬉しい。

町民提案で実現した野外音楽祭。今年350名参加だった。とても素晴らしかったので指定管理者が変わったとしてもぜひ継続していただきたい。

昭和レトロ館、金山校の生徒の発案に予算をつけて実現した点が素晴らしい。来年以降も高校生の案に予算を付けて実現することを継続して欲しい。

樋口 勝也 委員

100周年記念事業、素晴らしいと思った。これを映像としてまとめて残してはどうか。金山町全体を仮想空間博物館とし、イザベラバードを案内人にして、各文化を紹介していくような映像にまとめる。その構想をプリントにまとめてきたので参考にしていいただければ。100年後にも映像が残れば素晴らしかったという想いが残るのではないかな。

大場 洋介 委員

青年団体連絡協議会では、式典当日の祝賀会の準備等で協力させていただき、会員も活気ある行事に参加できたことを光栄に思っている。式典も中学生はじめ多くの町民から協力いただいたことを来賓の皆様にご好評に受けとめていただいたと感じている。今年複数の自治体で70周年記念式典が開催されたが、当町は町民が一体となった式典で良かったと感じている。

1点質問。100周年のぼり旗100旗では足りなかったのではないかな。

昨年雨で中止になったラジオ体操が今年実施できた。今後も一部事業を継続していただけたら。

事務局

のぼり旗は、当初50旗作成したが、個人・企業から多くの要望があり50旗増やした。各地区でも飾っていただいた。あのような大々的なのぼりはこれまで使用したことがなかったので、今後、町の花・鳥を含めた町の広報・PR方法として有効だと感じている。

大場 洋介 委員

山崎地区では祝日の際に国旗町旗を掲揚しており、来町者からは金山の取り組みが素晴らしいと評価をいただいた。100周年ののぼり旗も、もう少しあった方が良かったと思う。今後金山の新しいロゴを入れた旗も掲揚される機会があれば、町を訪れる方、通る方の印象も良くなるのでは。

星川美紀子 委員

女性団体としても青年部と同じように式典当日に参加してくださった方も100周年記念事業に携わった良い思い出になったと思う。私自身、携わらせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

金山町は、新たな時代に向けて1歩1歩踏み出しているのだなと感じている。

100周年プレからポストまで様々な事業があったが、これで終わりとするのではなく、これからも継続できる部分は続けていけるよう、町民も行政も皆でどうすれば町内外から興味を持ってもらえる町になれるか考えていければ。

式典は、小中高生の意見を大いに取り入れ皆で参加した式典だったというのが大変良かった。

デジタルアトラクションやプロジェクションマッピングはとても素晴らしかったという声が多か

ったので、機会があれば時々取り入れていただけたら。

松田 秀子 委員

100 周年の大きな行事に出席できたことをとても光栄に思い感謝している。昨年 10 月 5 日の新聞の全面広告、町外からも反響があり大変誇らしかった。

9 月 12 日に県内女性団体の会議があった。他地域から参加した方から 100 周年ののぼり旗を褒めていただき嬉しかった。「金山ではこのような取り組みに町民が皆協力してくれるのか」と問われ「皆それぞれの事業で協力してくれる」と誇らしく説明させてもらった。

沼澤 道也 委員

町外の方からの評価がとても高かった。「さすが金山。なんぼかかった？誰が企画した？」と興味深く様々な取り組みについて評価された。

せっかくなので引き継ぐことができないか。例えば大綱引き。街市で恒例化させてはどうか。東郷と西郷に分けて地区対抗にするとか、地区で競争するような形でできないか。

次に 100 周年記念御膳。食べてみたい。どうすれば食べられるのか。予約制にしてホテルで出せないか。産業まつり等でも食べる機会を設けられないか。

素晴らしい取り組みがたくさんあったので、そこからいろいろなものを継続できるような工面をしていただけたら。

合唱祭でスピノフ映像の途中経過の映像を流せないか。期待を高めて合唱祭を盛り上げてはどうか。

事務局

合唱祭での映像上映は難しいため完成まで楽しみにお待ちください。映像は 1 月末に完成予定。

鈴木 英樹 委員

今年の 9 月から教育長を拝命したため、直接参加できず悔しいなという想い。100 年というインパクトが大変強く「歴史の重みがいいね」と多くの方から言っていた。

教学課としては、ずっと続けているウォーキングイベントやトレイルラン。今年度の参加は昨年度を上回っている。継続しながら底辺を広げていく活動をしていきたい。トレイルラン、あの過酷なマラソンに今年は全国から 500 名以上のエントリーをいただき喜んでる。

昨年「還暦を祝う会」で記念映像を上映し皆に宣伝した。多くの人にお褒めいただき嬉しかった。

栗田 保則 副実行委員長

実行委員の皆様には、令和 5 年から今日までお疲れ様でした。昨年は様々なイベントが盛大に開催され、町民の皆さんが幸せな気分になったと思う。

記念式典、祝賀会では約 100 名の町民の方が準備にご協力をいただき心から敬意を表したい。

今年度各自自治体の 70 周年式典等に招待いただき、参加する機会が多いが、当町の 100 周年記念式典は多くの町民スタッフの協力もあり、金山町らしい誇らしい内容であったと感じている。

小関 啓幹 副実行委員長

前任からの引継ぎの際、自慢気に「こんなに素晴らしい 100 周年記念事業を実施したのだ」と誇らしげに教えていただいた。着任後まもなく 100 周年記念の冊子を担当から見せていただき、その中に皆さんのご活躍の様子も活き活きと表れていた。自分も参加したかった。これらの取り組みを色々な形で広げて繋げていくことが大事だと感じた。それを大人が嬉々として活動する様子を若い世代に見せていくことが大事だと思うので、私もできるところで仕事としてやっていきたい。

佐藤 英司 実行委員長

10 月 5 日、町民の皆さんから国旗町旗を掲げていただいたのは見事だったと改めて思い出した。特に上台から山崎、七日町の光景は壮観であった。全国植樹祭・全国育樹祭を彷彿とさせるような金山ならではの光景を見させていただいたし、来賓の方々へ歓迎の気持ちが伝わってとてもよかった。祝日に掲げていただくことを促してはいるがだんだん少なくなってきた。常に掲げてもら

うことをまたやっていきたいと改めて思った。

委員の方々から様々なご意見を頂戴した。継続性を持たせてやってみてはどうか、というご提案をいただいたので、そのままの形でできるかは要検討だが、なんらかの形で継続していくということはこれからも考えていきたいと思う。

樋口委員からいただいたイザベラバードを案内人に仕立てた仮想空間を利用した映像作成は現実的にできることだと思う。100周年で1周する時計の実現は、物として実現できるか検討していきたい。今当町にはシンボルマーク的な時計が無いので、ランドマーク的な形で町民が見ることができるとも思った方がいかなと井上委員のご提案にプラスして感じた。

新しいロゴの活用は今後の事業としてぜひやっていきたい。

沼澤委員からあった、大綱引きを継続してはどうか、とのご提案。どのような形で継続できるか検討していきたい。盛り上がりが素晴らしかったので、やり方次第では十分にやっていけると思う。

「100周年記念御膳」を作ったものの、食べられる機会がない。ホテルレストランで提供できるかは検討を要すると思うが、せっかく作ったものを活かしていくことは必要だろうと思う。

記念事業実施を踏まえ、継続したい事業を発掘し、次年度の予算にも反映させていきたい。

そのほかに何かありませんか。

鈴木 英樹 委員

何かを作るときにいろいろなものに「町制施行100周年」ということを記載し、100周年を経過した町であることをもっとPRしてはどうか。

佐藤 英司 実行委員長

様々な事業があるのでそこに「100周年の町」「100周年を経過した町」ということを入れ込んだ形でイベントを実施していくことも考えていきたい。

事務局

■ 100周年記念事業の課題2点について。

- ① 今回100周年を迎える直前からの準備だった。新庄市や舟形町は5年がかりで準備していた。当町は町民の皆様が協力的で一気に進めることができたが、本来は計画期間をしっかりと事前にとっておくべきだった。
- ② 各グッズやSNSの使い方。100周年記念事業以降も続く課題。どういうものを使って、どういうターゲットにどのようにアプローチしていくのが効果的なのかを、今後の広報の事業としてもしっかり整理していきたい。

■ 記念事業が盛り上がった要因2点。

- ① 1回目の実行委員会で、女性団体の星川委員、松田委員が「なんでもやります、なんでも言ってください」と言ってもらった。祝賀会スタッフ、蔵の会、みすぎコーラス、他の委員の皆さん、町民の皆さんにも、協力依頼を行っても誰も断らず、むしろご提案いただき喜んでくださった。町民の皆さんの協力があってこそ成功だった。
- ② 2つ目の要因は民間企業とのコラボ。式典、映像、各イベントは、多くの民間企業とのコラボにより、質の高い事業・イベントを行うことができた。継続してきたイベントをさらに満足度高く継続していけたらと思う。来年度の事業については予算を含め総合政策課を中心にまとめあげると思う。

星川美紀子 委員

国旗町旗、以前は多くの家庭で掲揚していたが、現在は「ポツ、ポツ」となっている。掲げている家を見て「忘れていた」ということもある。どのようにして前に戻すか。祝日に、国旗町旗の掲揚を促す放送やライフビジョンでの呼びかけを行ってはどうか。

佐藤 英司 実行委員長

毎回とはいかないが、適宜呼びかけるということはあるといいかと思う。そのようなことをやっていきたいと思う。祝日に国旗町旗が並ぶのは、町に対する印象度を上げることに繋がると思う。

樋口 勝也 委員

山崎地区の国旗町旗掲揚率が高いのは、何か対策しているのか。

大場 洋介 委員

山崎地区では、周りの家で掲げていると掲げてしまうような感じ。近所の旗を見て「あ、わすれていた」と慌てて掲げることがある。「山崎は金山の玄関」という意識が高い。来町するお客様から「まとまりがある町だな」と感じていただけると思う。

また、山崎地区では各家庭に花も配布している。国道沿いや役場周辺でも協力していただける方がいれば、一緒にできたら。今咲いている「さくらさくら」は、ほとんど水をかける必要がない。手がかからない花を配布している。

佐藤 英司 実行委員長

国旗町旗については、今月下旬区長会議があるので区長さん方にも協力依頼をしていきたい。

花については、議会で沼澤副議長からも七日町も山崎からの流れでできないか、とご意見をいただいたこともある。同じピンク色の花がそろっているととてもいい雰囲気を出してくれていると実感している。山崎地区だけでなく取り組むことができないか、区長さん方にも声掛けをしていきたいと思う。

4. その他

佐藤 英司 実行委員長

1点提案。実行委員の任期は今年度末まで、会議は今日が最終となる。記念映像の評価が大変高く、様々な賞をいただいている。実行委員の皆様と共に受賞をお祝いする会も兼ねた上映会を実行委員会の最終的な懇談の席としたいと考える。

《委員の皆様から拍手》

沼澤 道也 委員

大賛成だ。中学校のスピンオフ映像もみられるのか。

事務局

2本立てで行います。

佐藤 英司 実行委員長

時期は1月より後になろうかと思うが、準備したいと思う。

5. 閉 会

川崎総務課長

総務課長を4月に拝命し、昨年まで産業課長として金山祭や街市、産業まつりを担当してきたが、改めて実行委員会で委員の皆様から高い評価をいただいたことで、今までやってきた甲斐があったなと思った。今後も年度末の祝賀会に向けてよろしく願いし、本日の実行委員会を閉じます。ありがとうございました。

閉会 14:46

事務局	総務課長	川崎 勉
	課長補佐	渡辺麻里子
	総合政策課長	柴田 直樹
	課長補佐	高橋 章

(議事録) 斉藤 真奈美